

**「(仮称) 仙台市デジタル手続条例 (案)」に関する
意見募集の実施結果について**

○ 意見提出件数

13 件 (4 人・団体)

【意見の分類及び件数内訳】

意見の分類	件数
(1) 行政手続のオンライン化について	3 件
(2) マイナンバーカードの活用について	2 件
(3) 行政のデジタル化について	5 件
(4) その他	3 件
計	13 件

○ 意見の概要と本市の考え方

(1) 行政手続のオンライン化について

No.	意見の概要	本市の考え方
1	(手続オンライン化等により)行政窓口まで足を運ぶことなく、待ち時間も解消されるようになれば、利用者の時間や手間の削減が期待でき、好感が持てる。	本条例は、オンラインで行政手続を行うために必要な事項を定め、市民生活の向上に寄与することを目的としております。 行政手続のオンライン化にあたっては、市民の皆様が利便性を実感していただけるものとなるよう取り組んでまいります。
2	実際のオンライン運用に向けては、ユーザー目線にこだわった内容としてほしい。 また、スマホ等を使いこなせる高齢者を増やしていくような環境整備に努めてほしい。	本市では、デジタル化の推進にあたり、デジタルに馴染みの薄い方も含め、すべての市民の皆様がデジタルサービスにアクセスでき、デジタル化の恩恵を受けられるよう、「誰にも優しいデジタル化」を掲げております。今後もこの趣旨に沿って、ユーザー目線に立った取組を推進してまいります。

No.	意見の概要	本市の考え方
3	<p>手続オンライン化により、添付書類や押印などのコストが軽減されることを期待する。</p> <p>住民票の写しなどの添付書類の省略なども市民にとっては大きな改善になると思う。</p>	<p>本条例では、オンラインで行政手続を行うために必要な事項を定め、手続を行う皆様の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図ることとしております。</p> <p>行政手続のオンライン化によって、市民の皆様の負担を軽減し、日々の生活がより便利なものとなるよう取り組んでまいります。</p>

(2) マイナンバーカードの活用について

No.	意見の概要	本市の考え方
4	<p>今回の条例制定をきっかけに、あらゆる手続きをマイナンバーカードで行うサービスを提供し、市民がその利便性を実感出来るよう取り組むべき。</p> <p>現行法の中で出来るマイナンバー活用を積極的に行うべき。</p> <p>また、市民に対して解りやすく丁寧な説明をして、市民の理解を促す努力を継続してほしい。</p> <p>そしてデジタル化で空いた時間をデジタルに対応出来ない高齢者や障がい者のために使ってほしい。</p>	<p>本市では、オンライン手続におけるマイナンバーカード利用など、市民の皆様が、より便利に、より簡単に手続を行うことができるよう環境の整備に取り組むこととしております。</p> <p>今後も、マイナンバーカードやデジタル技術を利用したサービスを通じて、すべての市民の皆様がその利便性を実感できるものとなるよう努めるとともに、周知の取組を継続してまいります。</p>
5	<p>マイナンバーカードの職員証化を実施すべき。職員が持たずして市民は信用するだろうか。</p>	<p>本市職員のマイナンバーカードの取得については、更なる取得促進が必要なものと認識しております。</p> <p>マイナンバーカードについては、市民の皆様にも安心して取得いただけるものとなるよう努めるとともに、職員に対してなお一層取得を促してまいります。</p>

(3) 行政のデジタル化について

No.	意見の概要	本市の考え方
6	仙台市のフルデジタル化に向けたロードマップを再作成し、庁内の事務のあり方を抜本的に見直すことを徹底すべき。事務の BPR が必須である。	事務のフルデジタル化にあたっては、国や事業者との調整・連携が必要な場合もございます。 しかしながら、本市が BPR による業務の標準化や最適化を図る中で事務効率を向上させることが可能なものもございます。デジタル技術を積極的に活用し、可能なものから市役所の業務改革に取り組んでまいります。
7	市長直轄で、柔軟な考えの若手が参加し、市民の意見を取り入れながら迅速にサービスインし、アジャイル体制で進める組織横断の DX 体制を構築すべき。 人事制度を変革して実行すべき。	本市では、これまでも、新たな技術や手法を効果的に業務に取り入れられるよう、現場の職員から意見を募ったり、多くの職員にデジタル技術を体験する機会を設けたりするなどしてまいりました。 今後も、事業者や関係機関の意見交換や実証実験の結果も踏まえ、職務を担当する職員を交えて議論しながら、職員が一丸となって DX の推進に取り組んでまいります。
8	使い勝手が良く、セキュアな仙台市民ポータルを整備をお願いしたい。市民のニーズをしっかりと取り込んだポータルが必要。 その上で、高齢者や様々なハンディを抱える市民がこれを使えるように、NPO などとも協力しながら支援すべき。	本市では、デジタルになじみの薄い方などを対象にデジタル機器やサービスにより親しんでもらうため、通信事業者と連携したスマートフォン教室などに取り組んでおります。 デジタル化による様々な利点を感じていただくためには、市民の皆様が情報を得やすく、安心して使える仕組みも重要と考えており、引き続き検討してまいります。

No.	意見の概要	本市の考え方
9	行政手続をデジタル化することにより効率が上がるが、それを周知することや不慣れな方への配慮も重要である。	行政手続のデジタル化にあたっては、業務の効率化とともに、市民サービスの向上につながる必要があります。すべての市民の皆様にとって、便利に、安心してご利用いただけるサービスとなるよう努めてまいります。
10	仙台市が保有する各種データやビッグデータなどのオープンデータを徹底してほしい。	本市では、庁内におけるデータについて、新たにオープン化できるデータの掘り起こしや二次利用しやすい形式への変換などの取組を進めております。 引き続き、市民や民間企業の皆様が利活用しやすいオープンデータの拡充に取り組んでまいります。

(4) その他

No.	意見の概要	本市の考え方
11	仙台市は取り組むのが異常に遅く、時代変化に鈍感だと思えない。 今後は急激な人口減少に向っている。今までと同じことをやっていれば良いという時代ではない。DXの主旨に則り、意識変革して取り組むべき。	今後の人口減少社会においては、これまで以上に行政運営を効率化することが求められます。 職員の DX 推進に対する意識を一層高め、新たなデジタル技術を効果的に活用し、さらなる業務効率の追求と市民サービスの向上に努めてまいります。
12	人口減少社会の到来に伴い、限られた人的資源を最大限生かしながら効率的な行政運営を行う視点が今後さらに重要になる。業務効率化によって削減できた職員を社会福祉や地域活性化など重点分野に投下できるメリットは大きい。仙台が多くの人々から選ばれる都市となるよう、施策を前進させてほしい。	今後の人口減少社会においては、これまで以上に行政運営を効率化することが求められます。 本市の DX をさらに進め、業務効率の追求と市民サービスの向上に努めてまいります。

No.	意見の概要	本市の考え方
13	<p>仙台市には多くの知が結集している。</p> <p>大学や関係機関では、量子コンピュータの分野や医療福祉分野など、先進的な取り組みを実施している。</p> <p>情報連携基盤を積極的に活用し、市民の Well-Being 追求のために活動してほしい。</p> <p>日本の他自治体だけでなく世界を見ながら行動し、不断の調査を忘れずに DX を推進すべき。期待している。</p>	<p>市内に学術・研究機関、ICT 関連企業が集積していることは本市の強みの一つと捉えております。</p> <p>今後も、市民の皆様の Well-Being の実現に資するサービスの実装を目指し、これら関係機関や企業の知見も活かし、連携しながら、DX の推進に努めてまいります。</p>